



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

各小学校で林業体験を行いました

私たち津軽白神森林生態系保全センターでは、白神山地を含めた地域の森林生態系や林業について理解を深めてもらうため、津軽森林管理署との共催で、従来より実施している鰺ヶ沢町内2つの小学校に、今年度から深浦町内3つの小学校を加え、合計5校で、4年生の児童を対象として、林業体験学習を実施しました。

第1弾として9月7日に実施した深浦町立いわさき小学校については、9月発行の「白神の絆」(NO.192)に紹介しましたので、今回はその後実施した4校分をダイジェストで紹介したいと思います。



9月9日は第2弾として、深浦町立深浦小学校の皆さんと、十二湖青池周辺において、丸太切り体験と葉っぱ探しゲームを行いました。場所は先に実施したいわさき小学校と同じ場所です。

丸太切り体験では、この日も元気な歓声が飛び交いました。

右の写真は葉っぱ探しゲーム中に、触ってはいけない植物(ツタウルシ)の説明をしているところです。山は楽しいことだけではなく、時として危険なものにも出会います。そういうこともしっかりと伝えていきたいと思っています。



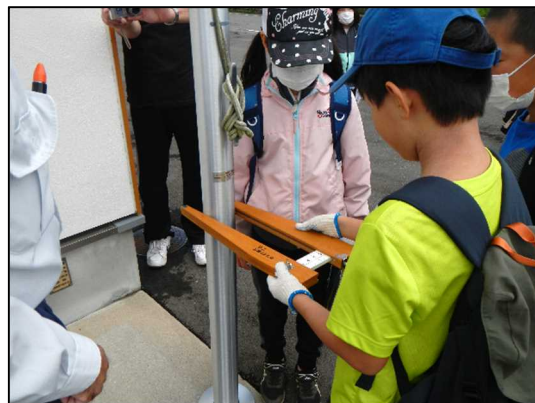
9月16日は鰺ヶ沢町立舞戸小学校の皆さんと、場所を鰺ヶ沢町内の国有林に移して実施。ここでは人工林の成長を阻害するかん木を伐採する除伐作業を体験しました。実際にノコギリを使う作業にはじめは緊張の様子でしたが、次第に慣れていく姿が頼もしかったです。

舞戸小学校は、除伐作業の作業地までの林道を歩きながら葉っぱ探しゲームです。私たち職員が出すヒントを聞きながら、ジューッと植物を見つめます。そして、お目当ての植物が見つかったと分かると、みんなで大歓声です。



9月20日は鱒ヶ沢町立西海小学校です。場所は舞戸小学校と同じ鱒ヶ沢町内国有林、のはずでしたが、台風接近による暴風警報が発令されたため、当センターの車庫内で丸太切り体験となりました。予定外の展開でしたが、思いのほか児童が楽しんでくれた様子に、荒天中止にしなくて良かったと思いました。

丸太切りの合間に、室内で葉っぱ探しゲームで探し当てる予定だった植物の紹介や、輪尺を使って庁舎周辺のいろいろな物の太さを測る体験をしました。



これまで、荒天時は中止をしていましたが（小雨は決行）、従来から実施している鱒ヶ沢町内小学校では、児童の皆さんがこのイベントを楽しみにしてくれていると聞き、試験的にセンター庁舎内で実施することとなりました。先に述べたように、思いのほか楽しんで学習してくれた様子を見て、やって良かったと思いました。



ラストを飾るのは9月26日の深浦町立修道小学校です。小学校郊外の国有林で除伐体験と葉っぱ探しゲームをしました。最初のいわさき小学校（9月9日）のときより秋の深まりを受け、クリやサルナシ、オニグルミなどが実を結んできており、それらを見つけると児童の歓声も一際大きいものとなりました。

このときの除伐体験は、これまでの開催場所より、やや足場の悪いところでの実施でしたので、スタッフが事前に歩道の刈り払いなどをし、児童の安全に万全を期しました。

修道小学校の皆さんが作業を終えたとき、それは5校すべての皆さんが怪我無く無事終了したときでもありましたので、深い安堵を覚えました。



最初に述べたように、今年度の小学校林業体験学習は、深浦町の3校が加わったことにより、9月に5校すべての実施となりました。準備的にも体力的にも大変でしたが、同時に、児童の皆さんの笑顔に励まされ、充実した時間でもありました。

来年度も、今年度の経験・反省点を踏まえ、より良い林業体験学習を児童の皆さんに提供していきたいと思えます。（赤澤）

豪雨被害関連（センターも床下浸水）

8月9日、津軽海峡付近に延びる前線の影響で津軽地方を中心に朝から激しい雨が断続的に降り、鯉ヶ沢町の中村川が氾濫する危険性が高まったとして、当センターが所在する舞戸地区に10時20分警戒レベル4の避難指示が発令されました。

避難指示は、8月3日以来2回目の発令となったことから、事前に車庫や倉庫の床にある物品等を高い場所に移動するなど、最低限の浸水に対する防衛策を講じて冷静に避難を行いました。

しかし、今回の大雨は桁違いで、避難先の舞戸小学校から見ていると、薬局、国道101号線、ラーメン店、コンビニなど瞬く間に冠水してしまい、自然の猛威に為す術がなくただ見ているしかありませんでした。



一夜明けた10日、通行止めの道路を回避しながらようやく事務所に到着し目にした光景は、周辺の水路の水が中村川に流入できずに増水（内水氾濫）したことにより、車庫や倉庫に浸水し水が引き床に泥が堆積した状態でしたが、事前に防衛策を講じたおかげで最小限の被害に止めることができ、職員みんなで協力して比較的早期に業務に支障なく後片付けを終えることができました。

今回の豪雨災害では、鉄道橋の湾曲や損傷、多くの住宅や事業所に浸水被害があり、このほか、国有林を含む林地でも土砂崩れや道路の損壊等の被害が発生し、特に、白神ラインや町道赤石溪流線など、世界自然遺産白神山地へ向かうルートでも甚大な被害を受けており、早期の復旧が望まれます。

最後になりますが、今回の豪雨で被災された方々にお見舞い申し上げます。（高木）



分かりにくいかもしれませんが、消火栓の高さ半分程度まで水が押し寄せました。

止まれの白線が、わずかに見えている状態。



上の写真と撮影した場所は異なりますが、およそ白線の位置（消火栓の高さとして）あたりまで水が押し寄せました。センターがある場所は、すり鉢状の底辺となる部分になっているので、水が溜まりやすい状態となる場合があります。